

# 世界史

## 〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は15ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 世界史

(60分 100点)

I 西洋の中世思想について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(34点)

[ 1 ] を再興したカール大帝は、[ 2 ] から学者を集め、各地の教会、修道院に付属学校を建設した。<sup>(1)</sup>ラテン語による文芸復興がそこから起こった。同じころ、それらの学校において教えられたのが、<sup>(2)</sup>キリスト教教義について中世独自の学問体系をもつ [ 3 ] である。それはのちに、<sup>(3)</sup>中世の多くの大学で哲学または神学として教えられるようになった。

中世の学問研究は、聖書やギリシア哲学などの文献の研究からはじまった。それゆえに、[ 3 ] では、信仰と理性をどのように調和させるかが重要な論点となった。[ 3 ] 全体をみわたしたときにみられる見解の相違は、この関係のとりえ方の相違であるといえる。

[ 3 ] 創成期を代表する学者のひとりとして、[ 4 ] をあげることができる。彼は、カンタベリ大司教として聖職者の叙任権をめぐる国王と対立した経歴をもつ一方で、神学者として<sup>(4)</sup>[ 5 ] を唱えた者として位置づけられる。[ 4 ] の議論の重要性は、神の存在・特質を理性によってとらえ、信仰と結びつけようとした点にある。彼が「[ 3 ] の父」とよばれるゆえんはここにある。彼の著作は [ 3 ] の基礎となり、また神の存在についての証明方法は、その後の思想にも大きな影響を与えた。

もっとも、信仰と理性の関係のとりえ方は一様ではない。「普遍が現実に実体として存在する」と主張する [ 4 ] やエウリゲナ、アルベルトゥス＝マグヌスらに代表される [ 5 ] に対しては、反論が存在した。『アベラールとエロイズ』に登場するアベラールや、「普遍とは実在するものではなく、記号にすぎない」と主張した [ 6 ] の [ 7 ] の立場がそれである。この論争は普遍論争とよばれている。結局、この論争についてはトマス＝アクィナスが<sup>(5)</sup>[ 5 ] の

立場から両議論を調和させることとなり、ここに [ 3 ] は大成されることになる。

なお、この論争は、「普遍」と「実体」の関係をどのようにとらえるかの問題であるが、ここでも、この論争の基底に、「イデア論」を展開した [ 8 ] の哲学や「万学の祖」とよばれる [ 9 ] <sup>(6)</sup>の哲学が存在したことがうかがえる。 [ 4 ] の議論では、哲学は、キリスト教教義が理性に優先するという考え方の説明（護教論）のために用いられ、「哲学は神学<sup>はしため</sup>の婢」とよばれもした。しかし、 [ 7 ] がみられるようになってくると、自由意志、個体の実在性が説かれ、神学と哲学の分離、信仰と理性の分離が説かれるようになった。 [ 3 ] は、ここで信仰と理性との調和を失っていくこととなる。

もっとも、これらの議論が進められる際に用いられた方法論も含め、普遍論争自体が、近代科学の萌芽とみてとれる議論を生みだしたといえる。<sup>(7)</sup>たとえば、トマス＝アクィナスは信仰と理性を調和させているものの、理性の領域をおおきく広げた点については近代への示唆<sup>しき</sup>を含んでいた。

問1 文中の空欄 [ 1 ] ～ [ 9 ] に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 [ 1 ] ～ [ 9 ]

- [ 1 ] ① 西ゴート王国 ② 東ローマ帝国  
③ 東ゴート王国 ④ 西ローマ帝国

- [ 2 ] ① アルクイン ② ラブレー  
③ チョーサー ④ モンテーニュ

- [ 3 ] ① 経験論 ② ストア派哲学  
③ スコラ学 ④ 合理論

- [ 4 ] ① アウグスティヌス ② アインハルト  
③ アンセルムス ④ ヒエロニムス

- 5 ① 実在論 ② 予定説  
③ 汎神論 ④ 唯名論

- 6 ① フス ② ウィリアム=オブ=オッカム  
③ アウグスティヌス ④ ヒエロニムス

- 7 ① 実在論 ② 予定説  
③ 汎神論 ④ 唯名論

- 8 ① ソクラテス ② プラトン  
③ アリストテレス ④ プロタゴラス

- 9 ① ソクラテス ② プラトン  
③ アリストテレス ④ プロタゴラス

問2 文中の下線部(1)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 10

- ① カール大帝によって大陸における大多数のゲルマン諸部族は統合された。  
② カール大帝はモンゴル系のアヴァール人およびイスラーム教徒を撃退し、西ヨーロッパの大部分をその支配下におさめた。  
③ カール大帝の子ピピンは751年、メロヴィング朝を開いた。  
④ カール大帝は教皇より戴冠された。

問3 文中の下線部(2)に関連して、この文芸復興の名称として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 11

- ① ロマン主義 ② イタリア=ルネサンス  
③ 12世紀ルネサンス ④ カロリング=ルネサンス

問4 文中の下線部(3)に関連して、大学の名前とその大学で著名であった専門分野の組合せとして誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

12

- ① サレルノ大学 —— 医学
- ② オクスフォード大学 —— 神学
- ③ パリ大学 —— 医学
- ④ ボローニャ大学 —— 法学

問5 文中の下線部(4)に関連して、聖職叙任権闘争とこれに先立つ教会改革運動についての記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

13

- ① 教皇インノケンティウス3世は皇帝ハインリヒ4世と対立した。
- ② 1122年のアウクスブルクの和議によって聖職叙任権闘争は一応の終結をみた。
- ③ フランス中東部のクリュニー修道院を中心に教会の改革の運動がおきた。
- ④ 世俗権力の影響を受け、一部の教会では聖職者の妻帯などを認める改革がおしすすめられた。

問6 文中の下線部(5)に関連して、次の2つの問いに答えなさい。

(a) この論争がなかなか終結しなかったひとつの理由は、キリスト教の教義である「三位一体説」への影響が懸念されたことである。この三位一体説をとる宗派を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

14

- ① イマーム派
- ② ネストリウス派
- ③ アリウス派
- ④ アタナシウス派

(b) この説を採用したキリスト教宗派を392年にローマ帝国の国教にした皇帝を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 15

- ① ディオクレティアヌス帝                      ② コンスタンティヌス帝  
③ ユリアヌス帝                                      ④ テオドシウス帝

問7 文中の下線部(6)に関連して、「アイデア論」の説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 16

- ① 対話をつうじて「無知」を自覚させ、普遍的真理に導く論法。  
② 経験論的立場から演繹的に結論を導き出す論法。  
③ 個々の感覚的存在をこえて最善・最美なるものが真に存在するという考え。  
④ キリストに神性を認める考え。

問8 文中の下線部(7)に関連しない記述を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 17

- ① ロジャー＝ベーコンは経験・実験・観察を重視した。  
② エラスムスは『愚神礼賛』でカトリックの腐敗を痛烈に風刺した。  
③ スコラ学が近代科学思想につながった要因としては、イスラーム世界を通じてギリシア・ローマの文化が流入した影響が大きかった。  
④ ウィリアム＝オブ＝オッカムは信仰と理性、神学と哲学を区別した。

Ⅱ アメリカ合衆国史における先住民インディアンと黒人の問題について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(32点)

1607年、イギリスは北アメリカに最初の植民地  を建設した。北アメリカにはアステカ王国やインカ帝国のような統一国家はなかったが、先住民インディアンとイギリス人入植者との争いは避けられなかった。アメリカ独立戦争において、大部分のインディアンは独立反対の立場をとり、イギリス本国側<sup>(1)</sup>についた。彼らの権利を尊重することを約束していたイギリス本国政府の間接的支配の方が彼らの土地を守りやすいと考えたからである。

一方、1619年に  に初めてアフリカの黒人が連れてこられてから、18世紀前半までに北アメリカに  のイギリス植民地<sup>(2)</sup>ができるうちに、各植民地で黒人奴隷制が法制化された。独立戦争のとき、インディアンとは違って、黒人の多くは、独立革命の自由の理念を信じて、独立支持派についた。実際、独立戦争中、自由主義的風潮に乗って奴隷制廃止運動が盛んになり、18世紀末までに、北部・中部のほとんどの州で奴隷制が廃止された。

しかし、万人の平等と、生命・自由・幸福の追求という譲ることのできない権利を高らかにうたった1776年の独立宣言は、黒人にもインディアンにも無関係であった。1783年の  <sup>(4)</sup>による独立承認後、1787年に  の憲法制定会議でつくられた合衆国憲法 (1788年発効) は、インディアンをアメリカ国民とは扱わず、また奴隷制を温存して、奴隷貿易も1808年になるまで禁止できないとした。<sup>(5)</sup>

イギリスの奴隷貿易は、その産業革命の前提となる資本蓄積に役立ったが、この<sup>(6)</sup>産業革命による綿工業の発展と連動して、アメリカの南部では、独立後に、原料としての綿花栽培が盛んになり、綿花は19世紀の前半にアメリカの最重要な輸出品<sup>(7)</sup>となっていくた。1808年からアフリカとの奴隷貿易は禁止されたが、綿花プランテーションの労働力として奴隷の需要は増大し、またこのプランテーション農業が土壌の急速な消耗を招いたため、プランターは絶えず新しい土地を必要とした。そのためプランターはインディアンの土地奪取の急先鋒となった。

1812年にはじまったアメリカ＝イギリス戦争において、アメリカ軍が熱中したのは、イギリス軍と手を組んだインディアンの掃討作戦とその土地獲得であった。

このときクリーク族掃討作戦を苛酷に展開したのが、後に第7代大統領となる  
22 である。彼は、大統領として、1830年の強制移住法にもとづいて、  
23 川以東に住むインディアンにその土地を明け渡させ、 23 川以西  
の保留地に移住させることにした。つづく1840年代は合衆国の急激な領土膨張の  
時代で、アメリカ人はそれを「明白な天命」として正当化した。しかし、移住者の  
群れが西部に押し寄せると、西部のインディアン諸部族は徹底抗戦をせざるをえな  
くなくなった。

西部開拓の結果新しい州の成立が承認される際、北部の自由州と南部の奴隷州は、  
新しい州に奴隷制を認めるかどうかで対立することになった。1854年、奴隷制に  
反対する共和党が結成され、1860年に共和党のリンカンが大統領に当選したこと  
をきっかけに、南部諸州は連邦から分離し、翌61年初めにアメリカ連合国をつくっ  
たため、ここに南北戦争が<sup>(9)</sup>はじまった。戦争中の1863年1月、リンカンは、奴隷  
解放宣言において、合衆国への反乱地域にいる奴隷を解放することを布告し、この  
宣言に対する世界の支持を訴えた。1865年、北軍の勝利の後、憲法修正第13条によっ  
て奴隷制は正式に<sup>(10)</sup>廃止された。また戦後、1870年代をピークとして、1890年まで  
合衆国軍とインディアン諸部族との最後の決戦が展開された。インディアンが市民  
権を得たのは1924年のことである。

問1 文中の空欄 18 ~ 23 に入る語句として適当なものを、次の①  
~④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 18 ~ 23

- 18 ① ペンシルヴェニア ② ヴァージニア  
③ メリーランド ④ マサチューセッツ

- 19 ① 11 ② 12  
③ 13 ④ 14





問8 文中の下線部(7)に関連して、18世紀末に、短毛種の綿花からの種子の除去を容易にする綿繰り機を発明して、綿生産を飛躍的に増大させた発明家を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① アークライト
- ② ホイットニー
- ③ カートライト
- ④ ハーグリーヴズ

問9 文中の下線部(8)に関連して、1848年にアメリカ＝メキシコ戦争でメキシコから獲得した領土を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 31

- ① オレゴン
- ② テキサス
- ③ カリフォルニア
- ④ ルイジアナ

問10 文中の下線部(9)に関連して、南部と北部の対立に関する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 32

- ① 産業革命がすすみ資本主義の発達した北部は、自由貿易を要求した。
- ② 綿花栽培地域である南部は、インド綿と対抗するため、保護関税政策を主張した。
- ③ 1820年のミズーリ協定は、北緯36度30分以南には奴隷州をつくらないと定めた。
- ④ 1854年、カンザスとネブラスカの両准州について、自由州となるか奴隷州となるかは住民の意志で決定するという法律が制定された。

問11 文中の下線部(10)に関連して、最高司令官として北軍を勝利に導き、後に大統領となった人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 33

- ① モンロー
- ② グラント
- ③ ジェファソン
- ④ ジャクソン

### Ⅲ 東南アジアについて述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

東南アジアは、などの西方世界と、中国などの東方世界を結ぶ交易ルート上にあり、双方の影響を受けつつ、独自の文化を発展させてきた。日本も、古くから東南アジア地域と交流してきた。

6世紀に朝鮮半島を経由して日本に伝来した仏教は、朝廷から徐々に民間に広  
(1) まっていた。平安時代には遣唐使の派遣などにより、中国で仏教を学ぶ僧侶も増えた。その中には、仏教の生まれたで修業をしたいと考えた人もいた。

時代が下り、航海技術が発達すると、仏教の聖地巡礼を目的として、東南アジア経由でをめざす人々が現れた。東南アジアのには、12世紀にヒンドゥー教寺院としてたてられ、その後仏教寺院にされたがあった  
(2) が、聖地巡礼のため東南アジアにやってきた日本人たちは、これをの祇園精舎と思ひこみ、参詣した。中には、江戸時代初期に当地を訪れた森本右近太夫のように、記念に寺院の壁などに墨書を残した人々もいる。

貿易のため、東南アジアをめざした人々もいた。は、許可証を与えた貿易船にのみ、海外との貿易を認めた。貿易船はベトナム北部の<sup>(3)</sup>および中南部の、、タイの、フィリピンのルソンなどにおもむき貿易をおこなった。タイなどには日本人の居留地、すなわち日本町が形成されたが、徳川幕府が鎖国政策を実施してからは衰退し、現地住民に同化される形で消滅した。

また、東南アジアには、中国からの移民も多い。古くは13世紀以前から、中国の貿易商がタイなどを訪れていた。の時代には、が南海遠征の途上、部下の馬歓を派遣してきた記録がある。またの海禁政策により、<sup>(4)</sup>住むところを失って海外に移住する人も増え、各地に中国人町ができるようになった。彼らは次第に貿易などの実権を握るようになり、中にはタイの官吏になる中国人も現れた。

一方、大航海時代以降、ヨーロッパ人が東南アジアに来るようになった。彼らの活動は、はじめは香辛料をはじめとする商業権益の拡大が中心であったが、しだいに領土獲得へと重点が移っていった。ヨーロッパ人はインドを足掛かりとして、東  
(5)

南アジアに進出し、各地に拠点をきずいて、貿易事業と植民地開発をおこなった。産業開発やインフラ建設のため、安価な労働力を必要としていたヨーロッパ人は、中国南部から多数の中国人を集め、各種労働に従事させた。中国人は厳しい労働条件に耐えつつ、現地に定着し、各地に中国人コミュニティをきずいていった。また交易を目的として、東南アジアに住みつく中国人も多く、彼らはのちの  のもととなった。第二次世界大戦終結後、植民地がつぎつぎと独立を果たしたが、その中にはマレーシアのように中国人の子孫が小さからぬ人口規模や発言権をもつ国もある。<sup>(6)</sup><sup>(7)</sup>

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- ① インド ② アラビア  
③ ペルシア ④ インドネシア

- ① ミャンマー ② カンボジア  
③ ラオス ④ チベット

- ① ボロブドゥール ② タージ=マハル  
③ アジャンター石窟寺院 ④ アンコール=ワット

- ① 織田信長 ② 足利義満  
③ 豊臣秀吉 ④ 徳川家康

- ① 李朝 ② 阮朝  
③ 黎朝 ④ 陳朝

- ① パガン朝 ② チャンパー  
③ 扶南 ④ マジャパヒト王国



問4 文中の下線部(3)を指すものとして正しいものを、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 46

- ① 勘合貿易
- ② 三角貿易
- ③ 南蛮貿易
- ④ 朱印船貿易

問5 文中の下線部(4)に関連する記述として正しいものを、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 47

- ① 倭寇による沿岸地方の略奪などをおさえるために実施された。
- ② 朝貢貿易を制限し、民間の海上交易を奨励した。
- ③ 中国人の海外渡航、およびポルトガル人の来航を禁じた。
- ④ キリスト教の布教を禁止し、西洋文化の流入を防ぐために実施された。

問6 文中の下線部(5)に関連して、東南アジアに進出したヨーロッパの国々と、その植民地の組み合わせとして誤っているものを、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 48

- ① イギリス — ミャンマー
- ② スペイン — フィリピン
- ③ オランダ — カンボジア
- ④ フランス — ベトナム

問7 文中の下線部(6)に関連して、独立した国と独立時の指導者の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 49

- ① カンボジア —— シハヌーク
- ② インドネシア —— スハルト
- ③ タイ —— チュラロンコン (ラーマ5世)
- ④ ベトナム —— ゴ=ディン=ジエム

問8 文中の下線部(7)に関連して、1965年に華人が中心となってマレーシアから分離、独立した国を、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 50

- ① ブルネイ
- ② シンガポール
- ③ 東ティモール
- ④ ラオス